

地域と連携した 外部指導者の専門的 指導で向上心アップ!

千葉県袖ヶ浦市立蔵波^{くらなみ}中学校

全校生徒数	463名(男子263名 女子200名)		
全クラス数	17	教職員数	40名(内体育教員4名)
運動部活動	12	運動部活動参加率(中学2年)	79.3%
地域の外部指導者の活用(年間延べ人数)			4人

取組時の課題と目的



1 取組時の課題

本校には柔道経験が豊富な体育教員がいなかったため、専門的指導、単元計画等に不安があった。また、運動部活動が盛んで、生徒も競技力を高めようという意欲があり、部員数も多いため、一人一人に指導にあたるようにするためには指導者数が不足している。

2 取組の目的

- ①安全面に配慮しながら、柔道の特性にふれ、体力・技能を効果的に高め、たくましく生きる力を養う。
- ②武道教育を媒体として規律ある集団作りを図り、日常生活、今後の社会生活に生かす。
- ③専門的知識をもった外部指導者とともに活動することで、競技力、3つのタイカ(体力・態力・耐力)を向上させる。
- ④複数の指導者により、一人一人に目を向けることができ、安全で効率的な指導を目指す。

取組の内容



1 市教育委員会と連携を図り、 地域連携指導者を柔道の単元にて配置

(1) 市教育委員会との連携で、人材・設備を充実

市教育委員会が地域の人材に呼びかけて、市内の中学校に地域連携指導者として派遣しており、本校でも柔道の専門的な指導にあたってもらっている。平成22年度より「袖ヶ浦市武道教育地域連携指導推進協力者会議」を定期的に行き、市、学校、地域連携指導者が連携して、武道教育の環境整備が推進されている。

また、市内5校の中学校全てに武道場が設置され、道着や武具の購入・修繕についても、毎年計画的に配備される等、施設・設備の充実も配慮されている。

(2) 単元計画を相談

全体的な指導案を教員が作成し、地域連携指導者に指導方針を共通理解してもらい、教員をT1、地域連携指導者をT2として、指導にあっている。

(3) 本物にふれ、体感できる

実際に専門家と胸を合わせ、指導を受けることで、正しい知識・技能の習得ができる。また、武道のもつ、“礼”“所作”といった文化を体感することで、授業以外の日常生活にも浸透させることができる。

(4) 指導者養成研修会

市内5校の中学校体育教員は、年2回、実技講習会を行っている(市教育委員会共催)。教員自らの技術・技能の向上により、よりよい授業を目指している。

2 野球部、サッカー部、ソフトテニス部で 地域の外部指導者を活用

(1) 専門知識・技能の習得と安全管理

年度はじめに学校が学校支援ボランティアを地域によびかけ、競技経験豊かな地域の外部指導者として部活動の運営に協力を得ている。顧問と指導方針を共有し、専門的な指導で生徒の競技力を高めている。また、安全に配慮した活動ができ、多くの部員の運動欲求や要求を満たすことができている。

(2) 3つのタイカ(体力・態力・耐力)の向上

- ①【体力】指導者が多いことで、運動の場、時間の確保ができ、各種体力要素の向上につながっている。
- ②【態力】社会人を活用することで、生活の基礎・基本を身に付け、態度力を向上させることができる。
- ③【耐力】多くの視点で生徒にアプローチでき、思考力が高まり、適応する力(忍耐力)が向上する。

●工夫したこと

①『保健体育授業:柔道』

指導方針を決定後、市教育委員会に要望を伝え、地域連携指導者の決定と、多くの時間に支援してもらえるように日程調整を密に行った。時間割を組み替えて武道の授業を集中させることで、地域連携指導者の負担を減らした。

②『運動部活動』

趣旨に賛同できる方に学校支援ボランティアをお願いし、顧問と綿密なミーティングを行った。

取組の成果



①『保健体育授業:柔道』

以前、受け身や固め技といった基本的なものにとどまっていた学習が、3年間実施した学年では、継続した指導により、基本技能の定着及び実践技へと発展できた。また、安全性の高い授業が展開できた。

②『運動部活動』

各部で競技力に向上が見られ、上部大会への出場や好成績へとつながっている。卒業後もスポーツに親しむ基礎となり、3つのタイカの向上が実感できた。

今後の課題

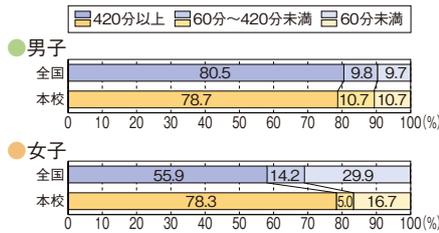


- ①地域に根づいた学校を目指し、各機関との連携を図り、生徒の心身の健全な育成のために、さらに外部指導者の確保が重要である。
- ②現在の整えられた協力体制が、今後も続いていくとは限らず、教員の指導力のさらなる向上が必須である。

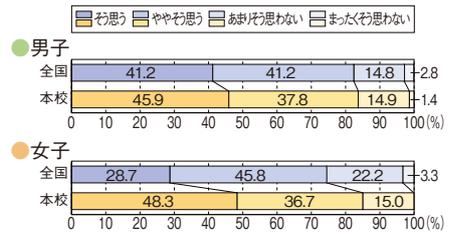
●体力合計点と運動時間

	男子	女子
体力合計点(点)	45.1	59.8
(各階級)合計	A	19.7
	B	28.8
	D	12.1
	E	4.5
	AB-DE	31.9
1週間の総運動時間(分)	1066.9	1038.3
60分未満の割合(%)	10.7	16.7

●1週間の総運動時間の分布



●【質問17】体力を高めたり、健康を保持増進したりできる



保健体育科授業：武道（柔道）＝ 地域連携指導者との授業実践

「市教育委員会との連携による専門家派遣（経験豊かな指導）」 「施設・設備の充実」による柔道授業

教員と地域連携指導者との
チームティーチング



説明は簡潔に！生徒の意欲も増えています。

安全面にも配慮した
3年間を見通した指導



まずはしっかり受け身から！そして立ち技に！

指導者養成研修会を経て、年々授業改善・工夫、指導力向上



<柔道心得>



<学習班・係分担>



<衛生面も配慮>



<指導者講習会>

運動部活動で、外部指導者が熱心に指導！体力・態力・耐力の向上

「専門知識・技能の習得」「地域と連携した複数による細やかな指導」で競技力・3つのタイカがアップ

サッカー部
技能だけでなく、
マナーも向上中
です。(態力)



ソフトテニス部
一人一人に親身
な指導をしてくれ
ます。(耐力)

野球部
土日の審判や指導も、何年にも
わたり協力してくれ、生徒も安心
した活動ができます。(体力)

